

2010年6月 日

## 平成22年度 定時総会を開催、新会長に 則久芳行 三井住友建設社長を選出

プレストレスト・コンクリート工事業協会(東京都新宿区津久戸町4-6 会長 則久芳行)は、5月25日、日本出版クラブ会館において「平成22年度定時総会」を開催しました。

本協会は、社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会と連携協議し、我が国におけるプレストレスト・コンクリート工事業の発展と、それに従事する技能者の技能並びに地位の向上に寄与することを目的とし活動しています。

総会では平成21年度の事業ならびに決算の報告、承認の後、役員改選を行い、新会長に則久芳行 三井住友建設社長 を選出し、同日就任しました。引き続いて平成22年度の事業計画と予算の承認がなされ、新体制がスタートしました。

22年度計画では、技能者のレベルアップと技能の伝承、登録PC基幹技能者の1現場1名配置の実現、同技能者の周知と地位向上などを重点目標としています。

総会后、約100名の出席者による懇親会で、則久新会長は「PC建設業協会、PC技術協会そしてPC工事業協会が三位一体となり、PC技術の発展のため力をつくすことが重要です。そして会員各位におかれては、PC基幹技能者育成のため日頃より努力いただいているところですが、これからも変わらぬご尽力をお願いします。また、実際の工事にあたっては、元請業者、協力業者のコミュニケーションをいかに高めていくかが肝要です。プレストレスト・コンクリートの地位をより揺るぎないものにすべく、一致団結、切磋琢磨しながら進んでまいりましょう。」と挨拶しました。

当協会は、設立以来PCの基幹技能者を育成、認定してまいりました。今後もPC工事に関わる技能者のレベルアップと技能の伝承に注力し、本来PCが持つ高耐久で高品質な社会資本づくりに寄与してまいります。

以上



総会後の懇親会で挨拶する 則久芳行 新会長